

**別表第1 授業科目表および単位数**

1 機械工学科

(1) 実践教育科目

○印は必修科目

区分	科目	単位	最低卒業資格 単位数	週時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
実践教育科目	学科入門ゼミナール	2	8以上	2									全員履修	
	コミュニケーション基礎	2			2									全員履修
	テクニカルコミュニケーション	2				2								全員履修
	キャリアデザイン1	1					2							
	キャリアデザイン2	1						2						
	インターンシップ	2						2						(集中)
	コンピュータ演習	2		2										
	資格取得講座	2							2					
小計		14	8以上	4	2	2	2	4	2	0	0			

(2) 総合教育科目

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

区分	科目	単位	最低卒業資格 単位数	週時間数								備考															
				1年次		2年次		3年次		4年次																	
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期																
総合教育科目	教養教育科目	教養入門ゼミ	2	20以上	2																						
		文学	2		2																						
		哲学	2		2																						
		論理学	2		2																						
		地理学	2		2																						
		社会思想史	2		2																						
		日本国憲法	2				2																				
		現代の政治	2				2																				
		経済学	2				2																				
		近代史	2				2																				
		心理学	2				2																				
		物質科学	2				2																				
		宇宙科学	2				2																				
		環境科学	2				2																				
		生命科学	2				2																				
		現代数学入門	2				2																				
		平和学	2				2	(2)																			
		時事問題	2					2																			
		外国の社会と文化	2					2																			
		倫理学	2					2																			
		科学技術史	2					2																			
		文章表現演習	2					2																			全員履修科目
		日本事情1	②					2																			留学生向け科目
		日本事情2	②						2																		留学生向け科目
日本の社会と文化1	②				2																			留学生向け科目			
日本の社会と文化2	②					2																		留学生向け科目			

区分	科目	単位	最低卒業資格 単位数	週時間数								備考				
				1年次		2年次		3年次		4年次						
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
総合教育科目	英語	英語(Listening & Speaking)1	1	4以上 8以上	2										(集中)	
		英語(Listening & Speaking)2	1			2										
		英語(Listening & Speaking)3	1				2									
		英語(Listening & Speaking)4	1					2								
		TOEIC上級(Listening)1	1				2									
		TOEIC上級(Listening)2	1					2								
		英語(Reading & Writing)1	1		2											
		英語(Reading & Writing)2	1			2										
		英語(Reading & Writing)3	1				2									
		英語(Reading & Writing)4	1					2								
		TOEIC上級(Reading)1	1					2								
		TOEIC上級(Reading)2	1						2							
		英語総合(上級)1	1							2						
		英語総合(上級)2	1								2					
	英語海外研修	2				2	2									
	初修外国語	初修外国語入門1	1		2											
		初修外国語入門2	1			2										
		初修外国語初級1	1				2									
		初修外国語初級2	1					2								
		初修外国語総合1	1						2							
		初修外国語総合2	1							2						
		初修外国語海外研修	2				2	2								
	日本語	日本語読解1	①		2											留学生向け科目
		日本語読解2	①			2										留学生向け科目
		日本語作文1	①		2											留学生向け科目
		日本語作文2	①			2										留学生向け科目
		上級日本語読解1	①				2									留学生向け科目
		上級日本語読解2	①					2								留学生向け科目
		上級日本語作文1	①					2								留学生向け科目
		上級日本語作文2	①						2							留学生向け科目
身体科学科目	スポーツ科学実習1	1		2												
	スポーツ科学実習2	1			2											
	スポーツ科学	2				2										
	運動科学	2					2									
小計		90	20以上	42	34	20	20	4	4	0	0					

注) 総合教育科目の履修要件

- イ 1年次配当の英語については、プレイメントテストを実施し、その結果に基づいて、習熟度別にクラスを分ける。  
ただし、英語の2年次および3年次配当科目については、この限りではない。
- ロ 英語は「4単位以上」必修であるが、この規定は留学生には適用しない。
- ハ 初修外国語はドイツ語、フランス語、中国語から構成され、複数の言語を卒業要件単位に算入することができる。  
ただし、各言語は、必ず「入門1」から履修しなければならない。
- ニ 留学生は、日本文化の4科目8単位および日本語の8科目8単位を必修とする。  
なお、留学生は、言語文化科目として母語を履修することはできない。
- ホ 留学生には英語のプレイメントテストを実施しない。

(3) 専門教育科目

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

区分	科目	単位	最低卒業資格 単位数	週時間数								備考																												
				1年次		2年次		3年次		4年次																														
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期																													
専門 教育 科目	専門基礎科目	基礎数学および演習	4	必修 44 ・ 選択 ・ 44 以上 合計 88 以上	4	(4)																																		
		解析学1	②		2	(2)																																		
		解析学2	②				2	(2)																																
		解析学3	2						2																															
		代数学1	②		2	(2)																																		
		代数学2	②				2	(2)																																
		代数学3	2						2																															
		物理学1	②		2	(2)																																		
		物理学1演習	②				2	(2)																																
		物理学2	2						2																															
		物理学2演習	2							2																														
		物理学実験	2		4	(4)																																		
		化学	2				2																																	
	機械工学専門基礎科目	工業力学1	②		2																																			
		工業力学2	②				2																																	
		材料力学1	②					2																																
		流体力学1	②						2																															
		熱力学1	②							2																														
		機械力学1	②								2																													
		制御工学1	②									2																												
		機械製図	②		4	(4)																																		
		機械の基礎	②		4	(4)																																		
		機械工作法	②				2																																	
		機械製作実習	②					4	(4)																															
		機械工学実験	②								4	(4)																												
		機械設計演習1	②						4	(4)																														
		機械設計演習2	②								4	(4)																												
		機械工学専門応用科目	材料力学2		2				2																															
流体力学2	2						2																																	
熱力学2	2							2																																
機械力学2	2									2																														
制御工学2	2										2																													
機械要素	2					2																																		
機械材料	2								2																															
トライボロジー	2											2																												

1 学則・奨学関係 (131-2 大阪産業大学工学部修学規程)

区分	科目	単位	最低卒業資格 単位数	週 時 間 数								備 考			
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
専 門 教 育 科 目	工業数学1	2	（ 必 修 44 ・ 選 択 44 以 上 合 計 88 以 上 ）			2									
	工業数学2	2					2								
	プログラミング	2					2								
	メカトロニクス	2							2						
	電気・電子工学	2							2						
	計測工学	2								2					
	機構学	2								2					
	伝熱工学	2							2						
	機械加工学	2						2							
	データ解析	2					2								
	工業デザイン	2								2					
	生体力学	2				2									
	医工学概論	2					2								
	再生医工学	2						2							
	医療・ヘルスケア機器開発学	2				2									
	ヘルスケア画像解析工学	2					2								
	リハビリテーション工学	2						2							
	福祉工学	2							2						
	バイオメカニクス	2								2					
	人間工学概論	2								2					
	情報技術	2								2					
	工業英語	2									2				
タリ卒業 目「研究 」コース・	リサーチスタディー	②							6						
	卒業研究	④								8	8				
	小 計	122	88以上	28	18	28	20	24	18	8	8				
	実践教育科目、総合教育科目、専門教育 合 計	226	124	74	54	50	42	32	24	8	8				

注) 専門教育科目の履修要件

イ 基礎科目の取り扱い

「基礎数学および演習」については、プレースメントテストの点数が基準に満たない者は、履修しなければならない。

また、入学初年度の前期に限り、専門基礎科目分野の対応する科目「解析学1」および「代数学1」を履修することができない。

ただし、プレースメントテストの点数が基準を満たした者 および専門基礎科目分野の科目「解析学1」、「解析学2」、「代数学1」

および「代数学2」のいずれかを修得した者は、「基礎数学および演習」を履修することができない。

注) 専門教育科目の履修要件

イ 基礎科目の取り扱い

「基礎数学および演習」については、プレースメントテストの点数が基準に満たない者は、履修しなければならない。

また、入学初年度の前期に限り、専門基礎科目分野の対応する科目「解析学1」および「代数学1」を履修することができない。

ただし、プレースメントテストの点数が基準を満たした者 および専門基礎科目分野の科目「解析学1」、「解析学2」、「代数学1」および「代数学2」のいずれかを修得した者は、「基礎数学および演習」を履修することができない。

1 学則・奨学関係 (131-2 大阪産業大学工学部修学規程)

5 教員免許取得に係わる科目

(1) 教科及び教科の指導法に関する科目

イ. 高等学校教諭一種免許状・工業(機械工学科)

(単位数を○でかこんだものは教職必修科目)

教育職員免許法施行規則に定める科目区分及び各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位	最低修得単位数	週 時 間 数								備 考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				前	後	前	後	前	後	前	後			
教科に関する専門的事項	工業力学1	②	左記より必修を含め34単位	2										
	材料力学1	②			2									
	流体力学1	②				2								
	熱力学1	②				2								
	機械力学1	②					2							
	制御工学1	②					2							
	機械工作法	②			2									
	機械要素	2				2								
	機械製図	②		4	(4)									
	機械の基礎	②		4	(4)									
	学科入門ゼミナール	2		2										
	コミュニケーション基礎	2			2									
	機械製作実習	②				4	(4)							
	機械工学実験	②						4	(4)					
	機械設計演習1	②					4	(4)						
	機械設計演習2	②							4	(4)				
	工業力学2	2			2									
	材料力学2	2				2								
	流体力学2	2					2							
	熱力学2	2					2							
	機械力学2	2						2						
	制御工学2	2						2						
	機械材料	2					2							
	計測工学	2						2						
	機械加工学	2							2					
	生体力学	2			2									
	医工学概論	2				2								
コンピュータ演習	2	2										△		
情報技術	2					2						△		
職業指導	職業指導	④					2	2						
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	工業科教育法1	②					2							
	工業科教育法2	②						2						
合 計		66	34	14	10	18	10	20	6	0	0			

注)備考欄中の△印は、「情報機器の操作」指定科目

1 学則・奨学関係 (131-2 大阪産業大学工学部修学規程)

(2) 教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分 および各科目に含めることが必要な事項	授 業 科 目	単 位	週 時 間 数								中 学 校	高 等 学 校	算 入 科 目 単 位
			1年次		2年次		3年次		4年次				
			前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2	2							◎	◎	※
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職入門	2	2							◎	◎	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育制度論	2		2						◎	◎	
		人権教育	2			2					○	○	※
		生涯学習論	2			2					○	○	※
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	2							◎	◎	※
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	2			2					◎	◎	
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2				2				◎	◎		
生徒指導、総合的な学習の時間等に関する科目及び 道徳、総合的な学習の時間等の指導法	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と方法	2			2					◎	○	※
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2					2			◎	◎	
	特別活動の指導法												
	教育の方法及び技術	教育方法論	2	2							◎	◎	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育とICT活用	1				1				◎	◎	(集中)
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導論	2		2						◎	◎	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法												
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論と方法	2			2					◎	◎		
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習1	1				2	2			◎	◎	事前・事後指導
		教育実習2a	4						8		◎		(集中)
		教育実習2b	2						4			◎	(集中)
	教職実践演習	教職実践演習(中・高)	2							2	◎	◎	
合 計			36	4	4	6	8	5	4	12	2		

- 注) 1. 備考欄中の◎印は、各免許の必修科目  
 2. 備考欄中の○印は、各免許の選択科目  
 3. 備考欄中の※印は、電子情報通信工学科のみ、総合教育科目区分の卒業要件単位として算入する。



1 学則・奨学関係（131-2 大阪産業大学工学部修学規程）

(3)大学が独自に設定する科目

授 業 科 目	単 位	週 時 間 数								備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次		
		前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
道徳教育の理論と方法	2				2					
合 計	2	0	0	0	2	0	0	0	0	

注)上記科目は、高等学校教諭一種免許状取得希望者にも適用される科目とする。

## 6 資格取得に係わる科目

## イ. 二級自動車整備士(交通機械工学科 自動車工学コース)

二級自動車整備士の受験資格を得ようとする者は、国土交通省の定めるところにより、次の科目をすべて修得しなければならない。

授業科目	単位	最低修得単位数	週時間数								備考	
			1年次		2年次		3年次		4年次			
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
工業数学	2	44			2							○
工業力学1	2		2									○
材料力学	2			2								○
機械動力学	2					2						○
機械製作法	2		2									○
機械製図	2				4							○
材料工学	2		2									○
流体工学	2				2							○
熱工学	2				2							○
電気工学	2				2							○
交通機械基礎実習	2		6									○
自動車構造論1	2			2								○
工業力学2	2			2								○
交通原動機学1	2					2						○
自動車技術論	2						2					○
自動車整備工学	2							2				○
自動車工学実習1	4				12							○※
自動車工学実習2	4					12						○※
自動車工学実習3	4						12				○※	
合計	44	44	12	6	24	16	2	14	0	0		

## 注) 1. 履修について

- 自動車工学コースの者に限り、二級自動車整備士の受験資格を取得することができるものとし、上記一覧に示す二級自動車整備士の受験資格に必要な科目をすべて修得し、当該コースの卒業要件単位を満たさなければならない。自動車工学コースを履修できる学年定員を1、2年次で各105名、3、4年次で編入学生を加えて各107名とする。
  - 上記一覧表に示す二級自動車整備士の受験資格に係る各科目は、定められた「週時間数」を開講し、講義科目で16回(定期試験を含む)以上、交通機械基礎実習及び機械製図は15回以上、自動車工学実習1、2及び3は、30回以上の授業を開講し、毎回に出欠を確認する。  
なお、講義科目で13回(定期試験を含む)以上、交通機械基礎実習、機械製図は12回以上、自動車工学実習1、2及び3は、それぞれ24回以上で開講回数の8割以上を出席しなければ、単位を修得することができない。
  - 上記一覧表に示す二級自動車整備士の受験資格に係る各科目の毎回の授業における遅刻及び早退はそれぞれ開始後、終了前の15分間以内とし、その15分間を超えた場合、欠席とする。  
1科目内での遅刻及び早退が3回をもって、1回の欠席とする。
  - 上記一覧表に示す二級自動車整備士の受験資格に係る各科目の補講について、担当教員の公的理由などにより休講となった場合、必ず、補講を実施する。なお、学生の公欠や病気などに伴う欠席についての補講は基本的に実施しない。
2. 自動車工学コースの卒業者に限り、国土交通省の定める二級自動車整備士養成施設での課程(認定大学)を修了した者として、『修了証明書』を発行する。
3. 備考欄中の○印は、自動車工学コースの卒業要件単位に算入される科目。
4. 備考欄中の※印は、自動車工学コース以外の者が、履修申請できない科目。